

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月15日

上場会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL http://www.samantha.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺田 和正
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)古市 知元 (TEL)03(5412)8193
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年11月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	19,027	41.3	1,781	154.4	1,753	116.9	853	101.0
26年2月期第2四半期	13,466	△0.2	700	127.4	808	219.5	424	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 849百万円(115.9%) 26年2月期第2四半期 393百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	24.17	—
26年2月期第2四半期	12.02	—

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行い、平成26年3月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	20,267	9,505	45.6
26年2月期	17,232	8,593	49.4

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 9,248百万円 26年2月期 8,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	400.00	—	400.00	800.00
27年2月期	—	5.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年2月期(予想)の年間配当金については、平成26年3月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,850	23.0	3,280	79.7	3,250	61.7	1,480	74.5	41.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期2Q	35,296,000株	26年2月期	35,296,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	—株	26年2月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期2Q	35,296,000株	26年2月期2Q	35,296,000株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行い、平成26年3月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成26年2月期及び平成27年2月期第2四半期の株式数を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は、平成26年1月20日開催の取締役会決議に基づき、平成26年3月1日を効力発生日として普通株式1株を100株とする株式分割を実施いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の積極的な経済・金融政策の推進により、景況感には改善の動きがみられました。また、消費税増税前の駆け込み需要などもあり、個人消費の増加も見られました。しかしながら、4月以降は増税に伴う消費マインドの冷え込みが懸念され、また、円安による原材料価格の上昇などもあり、先行きはなお不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、消費税増税後の駆け込み需要の反動や夏場の天候不順もあり、厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

・店舗展開について

バッグ事業においては、15店舗を出店いたしました。海外では、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルルにあるショッピングセンター「アラモアナショッピングセンター」の2階の好立地に「サマンサタバサ ハワイアラモアナセンター店」を出店いたしました。国内では、新潟県への初出店として「サマンサタバサ 新潟伊勢丹店」「サマンサタバサ サプチョイス 新潟伊勢丹店」を出店いたしました。また、昨年より展開しているファストファッションブランド「Samantha & chouette」の出店を加速し、「サマンサ&シュエット ギャラリー イオンモール大高」「サマンサ&シュエット ギャラリー イオンモール新潟南店」「サマンサ&シュエット ギャラリー イオンモール羽生店」など8店舗を出店いたしました。

ジュエリー事業においては、「サマンサティアラブライダル&ジュエリー 銀座本店」が、「サマンサティアラブライダル&サマンサタバサ 銀座本店」としてリニューアルオープンいたしました。

ゴルフ事業においては、「Samantha Thavasa UNDER25 & No.7 池袋東武店」を出店いたしました。

アパレル事業においては、新ブランド「RedyAzel by Honey Bunch(レディアゼル パイ ハニーバンチ)」の第1号店を新宿ルミネエストに出店いたしました。

その結果、サマンサタバサグループ合計で25店舗を出店いたしました。

・プロモーション活動について

バッグ事業においては、日本国内のみならずアジアでも絶大な人気を誇るダンス&ヴォーカルグループであるEXILE TAKAHIROさんと「ミランダ・カー」との夢の共演が実現した「Samantha Thavasa meets SAMANTHA KINGZ 2014」のCMを放映し、「Samantha Thavasa」と共にメンズブランド「SAMANTHA KINGZ」初のCMプロモーションを行いました。本CMは、共に芥川賞作家でもあり、実生活でも夫婦でもある阿部和重氏、川上未映子氏が高齢で書き上げたサマンサタバサオリジナル恋愛小説をもとに製作されました。

また、EXILEのD.N.Aを受け継ぎ本格的なダンスパフォーマンスを展開する女性グループ「E-girls」が、「Samantha Vega」のミニバッグを手にし、圧倒的なダンスパフォーマンスと音楽とファッションで魅せる「サマンサベガ×ハニーバンチ～Disney New Collection～meets E-girls」スペシャルコラボCMを放映いたしました。

さらに、日本最大級のガールズファッションショーの先駆けである、「神戸コレクション」「東京ランウェイ」に協賛し、「サマンサタバサ」やアパレルの「ハニーバンチ」「シークレットハニー by ハニーバンチ」の商品をステージで紹介いたしました。

ジュエリー事業においては、Samantha Tiara & Samantha Thavasa “サマンサティアラ ジュエリー”のCMを放映し、当社設立20周年アニバーサリー特別企画のジュエリーを紹介いたしました。本CMには、現在絶対的な人気を誇る三代目 J Soul Brothersから、今市さん、登坂さん、岩田さんが出演しています。

ゴルフ事業においては、当社が主催する女子ゴルフトーナメントである、「サマンサタバサ ガールズコレクション レディーストーナメント 2014」を、7月18日(金)～20日(日)の3日間、茨城県・イーグルポイントゴルフクラブで開催いたしました。

・商品戦略について

各ブランド事業において新作を販売し、多様化するファッションニーズに応える商品を積極的に展開してきました。また、商品の魅力をより高めるコラボレーションも継続して行い、雑誌や人気モデルとのコラボレーションによる商品を販売いたしました。

バッグ事業においては、高品質のレザー商品である「サマンサ・アゼル」「ヴィリエ」「レディアゼル」「ルイーザ」が堅調に推移いたしました。また、日本テレビ系列の朝の人気番組「スッキリ!!」とのコラボ第2弾としてお客様の声を反映し機能性を重視した商品の開発に注力した「エンヴィー」などを販売し、大きな反響を呼びました。

ジュエリー事業においては、「フラワーレターズ」「ルミエール」を中心に堅調に推移いたしました。また、ディズニー映画『アナと雪の女王』の公開に合わせてディズニーコレクション『アナと雪の女王』シリーズを販売いたしました。さらに、当社設立20周年アニバーサリー特別企画として、サマンサティアラ「ラブチェーン」シリーズを販売いたしました。

アパレル事業においては、当社のグループアパレル会社である株式会社バーンデストジャパンリミテッドより新ブランド「RedyAzel by Honey Bunch(レディアゼル バイ ハニーバンチ)」がデビューし、第1号店を新宿ルミネエストに出店いたしました。当ブランドは、人気モデル藤井リナさんの手掛けるラインも展開し、メディアから注目を集めています。

平成26年5月に当社のブランドである「Samantha Thavasa Petit Choice」については、消費者ニーズに対応した高い商品力が評価され、ファッション業界に貢献した企業・団体・個人に贈られる「第32回(2013年度)百貨店バイヤーズ賞」(織研新聞社主催)を受賞いたしました。また、「Samantha Thavasa」「Samantha Vega」「Secret Honey by Honey Bunch」が「第16回(2013年度)ディベロッパが選んだテナント大賞」(織研新聞社主催)の部門賞を受賞いたしました。

・消費税増税対策について

当社グループは、平成26年4月1日に実施された消費税増税に対し、1年以上前から「消費税増税に絶対勝つ!」をテーマに、商品企画から販促、人材育成等と、当社グループ全スタッフで立体的に取り組んでまいりました。また、ミニミアゼルやハニーベアのプレゼントによる積極的な販促活動も実施いたしました。その結果、当社の平成26年4月度の売上高は前年同月対比130%を達成いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は190億27百万円(前年同期比41.3%増)、売上総利益は125億34百万円(前年同期比39.9%増)、営業利益は17億81百万円(前年同期比154.4%増)、経常利益は17億53百万円(前年同期比116.9%増)、四半期純利益は8億53百万円(前年同期比101.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は202億67百万円であり、前連結会計年度末と比較して30億35百万円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が12億82百万円、受取手形及び売掛金が5億29百万円、商品及び製品が8億47百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は107億62百万円であり、前連結会計年度末と比較して21億23百万円増加しております。主な増加要因は、短期借入金が5億82百万円、長期借入金が5億78百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は95億5百万円であり、前連結会計年度末と比較して9億11百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、12億82百万円増加し、37億92百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億94百万円(前年同四半期は1億10百万円の資金の増加)となりました。

この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益17億45百万円、減価償却費2億86百万円などの収入要因が、売上債権の増加額5億29百万円及びたな卸資産の増加額8億59百万円などの支出要因を上回ったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億64百万円(前年同四半期は9億53百万円の資金の減少)となりました。この主な内訳は、有形固定資産の取得による支出5億11百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億70百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は13億25百万円(前年同四半期は8億45百万円の資金の増加)となりました。この主な内訳は、短期借入金の純増額5億82百万円、長期借入れによる収入11億円などの収入要因が、長期借入金の返済による支出4億18百万円などの支出要因を上回ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年7月9日にて公表いたしました通期の業績予想を修正しました。具体的な内容につきましては、本日公表の「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,509,680	3,792,295
受取手形及び売掛金	2,558,093	3,087,920
商品及び製品	5,859,588	6,707,560
仕掛品	31,207	33,118
原材料及び貯蔵品	295,122	304,708
その他	996,313	886,461
貸倒引当金	△1,443	△1,414
流動資産合計	12,248,563	14,810,650
固定資産		
有形固定資産	1,095,634	1,411,783
無形固定資産		
のれん	908,525	861,158
その他	287,751	418,184
無形固定資産合計	1,196,277	1,279,343
投資その他の資産		
差入保証金	2,085,062	2,162,931
その他	606,688	603,059
投資その他の資産合計	2,691,750	2,765,990
固定資産合計	4,983,662	5,457,117
資産合計	17,232,225	20,267,767
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,909,702	2,037,511
短期借入金	1,272,020	1,854,550
1年内返済予定の長期借入金	1,606,676	1,710,384
未払法人税等	848,673	971,319
賞与引当金	193,685	214,057
その他	1,040,805	1,633,537
流動負債合計	6,871,563	8,421,360
固定負債		
長期借入金	1,647,237	2,225,420
その他	119,879	115,823
固定負債合計	1,767,116	2,341,243
負債合計	8,638,680	10,762,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	4,208,021	4,919,878
株主資本合計	8,593,221	9,305,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,658	13,956
為替換算調整勘定	△94,228	△70,569
その他の包括利益累計額合計	△83,570	△56,613
少数株主持分	83,894	256,699
純資産合計	8,593,544	9,505,163
負債純資産合計	17,232,225	20,267,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	13,466,644	19,027,260
売上原価	4,505,510	6,492,419
売上総利益	8,961,133	12,534,841
販売費及び一般管理費	8,261,103	10,753,828
営業利益	700,029	1,781,012
営業外収益		
受取利息	594	455
受取配当金	8	577
為替差益	71,885	3,627
償却債権取立益	51,900	—
補助金収入	2,302	695
その他	1,612	2,036
営業外収益合計	128,302	7,392
営業外費用		
支払利息	19,391	19,034
たな卸資産処分損	—	11,926
その他	527	3,620
営業外費用合計	19,919	34,581
経常利益	808,413	1,753,824
特別利益		
関係会社株式売却益	105,570	—
負ののれん発生益	41,232	—
特別利益合計	146,802	—
特別損失		
固定資産除却損	80,596	8,750
固定資産売却損	—	42
その他	26,266	—
特別損失合計	106,862	8,792
税金等調整前四半期純利益	848,353	1,745,031
法人税、住民税及び事業税	211,565	949,357
法人税等調整額	234,556	△23,151
法人税等合計	446,122	926,205
少数株主損益調整前四半期純利益	402,231	818,825
少数株主損失(△)	△22,088	△34,215
四半期純利益	424,319	853,041

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	402,231	818,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,732	3,297
為替換算調整勘定	△16,677	26,928
その他の包括利益合計	△8,945	30,226
四半期包括利益	393,285	849,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,365	879,998
少数株主に係る四半期包括利益	△14,079	△30,945

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	848,353	1,745,031
減価償却費	247,930	286,035
のれん償却額	1,222	47,366
貸倒引当金の増減額(△は減少)	307	△28
受取利息及び受取配当金	△603	△1,033
為替差損益(△は益)	△12,844	△975
支払利息	19,391	19,034
固定資産除却損	80,596	8,750
関係会社株式売却損益(△は益)	△105,570	-
負ののれん発生益	△41,232	-
売上債権の増減額(△は増加)	△281,467	△529,827
たな卸資産の増減額(△は増加)	△688,409	△859,467
仕入債務の増減額(△は減少)	45,402	127,808
その他	202,827	500,670
小計	315,905	1,343,365
利息及び配当金の受取額	603	553
利息の支払額	△19,389	△20,471
法人税等の支払額	△186,469	△828,866
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,649	494,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600	-
有形固定資産の取得による支出	△240,576	△511,753
無形固定資産の取得による支出	△13,341	△93,256
投資有価証券の取得による支出	△4,000	△2,999
関係会社株式の売却による収入	297,332	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,166,707	-
敷金及び保証金の差入による支出	△66,837	△170,777
敷金及び保証金の回収による収入	267,217	232,724
その他	△26,954	△18,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△953,268	△564,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	121,350	582,380
長期借入れによる収入	1,600,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△735,105	△418,109
少数株主からの払込みによる収入	-	203,750
配当金の支払額	△140,421	△142,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	845,823	1,325,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,193	26,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,398	1,282,615
現金及び現金同等物の期首残高	3,198,619	2,509,680
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,209,017	3,792,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。